

## 【めざす生徒像】

『友愛』 他人に思いやりを持ち、ともに高め合う生徒 【社会の創り手となる生徒の育成】

『礼節』 礼儀と節度を守る生徒 【他者を価値のある存在として尊重できる生徒の育成】

『協力』 力を合わせ、よい校風をつくる生徒 【多様な人々と協働できる生徒の育成】

## 【学校教育目標】

生徒一人一人が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値ある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら豊かな人生を切り開く力を育み、社会の作り手となる生徒を育成する。

日増しに暖かくなり、校庭の桜の開花が待ち遠しい季節となりました。保護者ならびに地域の皆様におかれましては、この一年、本校の教育活動を温かく支えていただき、深く感謝申し上げます。

さて、先月イタリアで開催されたミラノ・コルティナ2026冬季オリンピックが、多くの感動とともに幕を閉じました。氷上や雪上で繰り広げられた熱戦、そして閉会式での選手たちの晴れやかな表情が、今も記憶に新しいことと思います。

今大会、歴史的な大逆転で金メダリストとなったフィギュアスケート・ペアの三浦璃来選手と木原龍一選手、冬季五輪史上最年少金メダリストとなったスノーボード女子スロープスタイルの深田茉莉選手など、日本代表選手たちの活躍には目を見張るものがありました。しかし、私たちの心を打ったのはメダルの数だけではありません。転倒しても最後まで滑りきる姿、試合後にライバルと称え合う姿など、極限の舞台で見せた「あきらめない心」と「相手を敬う心」こそが、子どもたちの心に響く素晴らしい教材となったのではないのでしょうか。

3月は学年のまとめの時期です。中学3年生にとっては義務教育9年間の集大成、在校生にとっては次の学年への準備期間となります。オリンピック選手たちが次なる目標に向けて歩み出したように、生徒たちもこの一年で得た自信というバトンを手し、新しいステージへと力強く踏み出してほしいと願っています。

今月6日からはミラノ・コルティナ冬季パラリンピックが開幕します。多様性を認め合い、限界に挑む姿を、ぜひ引き続きご家庭でも応援していただければ幸いです。



## もうすぐ卒業する中学三年生の皆さんへ

卒業を目前に控えた皆さんの胸には今、どんな景色が広がっていますか。先月閉幕したミラノ・コルティナ2026冬季オリンピックでは、多くのアスリートが人生をかけた一瞬に挑みました。彼らの姿が私たちに教えてくれたのは、「結果」の尊さだけでなく、そこに至るまでの「葛藤と挑戦」の美しさです。

思えば皆さんの三年間も、決して平坦な道ばかりではなかったはず。思うようにいかない葛藤や、自分と向き合った孤独な時間もあったことでしょう。しかし、そのすべてが今の皆さんを形作る「強さ」となっています。

これから歩む道は、誰にも正解が分かりません。時には逆風が吹くこともあるでしょう。そんな時は、五輪の舞台で限界を越えようとした選手たちの「情熱」を思い出してください。自分の可能性を信じ、泥臭く、しかし前向きに一步を踏み出し続けてください。

皆さんは、本校の誇りです。新しい世界という大きな舞台上、自分らしい色で輝くことを、教職員一同心から応援しています。

## 中学3年生の保護者の皆様へ

この3年間、本校の教育活動に温かいご理解と多大なるご支援を賜りましたこと、心より厚く御礼申し上げます。お子様たちはもうまもなく義務教育を修了し、中学校を卒業されます。そして、あと3年もすれば18歳となり、日本の法律上では成人とみなされます。

しかし、「大人になる」ということは、単に年齢を重ねることや、何でも一人でできるようになることではありません。「自分の意志で決定し、他者の助けも借りながら、自分らしく生きていける力を持つこと」を指します。

子どもが自立した大人になるために親がすべきことは、「自分で考え、決断し、責任を取る機会を奪わずに見守ること」だと言われています。「見守る」という行為は、親にとって何よりもエネルギーと忍耐が必要な作業です。お子様たちを大切に思うあまり、つい口出しをしてしまうものです。そこを一步引いて「あなたなら大丈夫」と信頼を贈ることによって、子どもたちは「自分にはやり遂げる力があるんだ」と実感し、真の意味で自立への道を歩み始めることができます。

これまでお子様を慈しみ、温かく見守ってこられた保護者の皆様の歩みに、深く敬意を表します。これからも、新しいステージへ進む子どもたちを、良き理解者として共に支えていきましょう。

